

令和4年度第1回

豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 議事録

日 時：令和4年8月2日（火）

午後2時～4時

場 所：市役所南庁舎7階 南74委員会室

Web会議

■ 出席者

（豊田市社会福祉審議会高齢者専門分科会委員）

※五十音順

所属機関・団体名	氏名	出欠
豊田市高齢者クラブ連合会	稲垣 令一	欠
市民公募	岩佐 伸雄	○
豊田市民生委員児童委員協議会	兼子 吉彦	○
一般社団法人 豊田加茂医師会	柴原 弘明	○
豊田市介護サービス機関連絡協議会	傍嶋 博志	○
豊田市ボランティア連絡協議会	田中 すい子	○
一般社団法人 豊田加茂歯科医師会	谷川 博伸	○
日本福祉大学中央福祉専門学校	長岩 嘉文	○
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会	中田 繁美	○
中京大学 現代社会学部	中田 雅美	○
豊田市ファミリー・サービス・クラブ	三崎 祐子	○
豊田市特別養護老人ホーム施設長協議会	三井 克哉	○
一般社団法人 豊田加茂薬剤師会	山田 雄三	○

■ 豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 次第

1 開 会

(1) 専門分科会長の選任及び副専門分科会長の指名

2 議 事

(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

【議題1】第8期計画の進捗状況について (報告事項)

- ・重点施策
- ・計画書掲載事業
- ・介護保険事業

【議題2】第9期計画の策定について (報告事項)

(2) 地域包括支援センター運営協議会に関すること

【議題1】地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について (承認事項)

【議題2】令和3年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について (承認事項)

【議題3】令和3年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について (承認事項)

【議題4】令和4年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について (承認事項)

3 報告事項

4 連絡事項

〔 分 科 会 長 ・ 副 会 長 選 任 〕

・分科会長及び分科会副会長は、下記のとおり選任された。

分科会長 長岩 嘉文 委員
分科会副会長 柴原 弘明 委員

〔 議 事 内 容 〕

(会長)

本日の議題は大きく2つあります。まず一つ目は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の報告事項となっています。その後、地域包括支援センター運営協議会に関する事で、議題4ついずれも承認事項です。事務局から説明をお願いします。

(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関する事

【議題1】第8期計画の進捗状況について (報告事項)

概要説明 (介護保険課)

- ・第8期高齢者保健福祉計画の重点施策・計画書掲載事業・介護保険事業の進捗状況について説明

(会長)

人が集まって開催する事業については、コロナの影響で目標に届かなかった。一方、専門職が集まって実施されるものは、リモートなどを活用して参加者数が増えているものもあるように思います。

分析も含めて説明していただきましたが、御意見・御質問などはいかがでしょうか。

(委員)

私は元気アップ教室に参加しており、昨年4月から9月は活動ができなかったですが、今年度は徐々に再開しています。

(委員)

コロナだからできないではなく、手探りではありますができることをやってきたのが令和3年度だったように感じます。令和4年度もそれを引き続きやっているという感じだと思います。

認知症の事業については、地域でやっているの、コロナの影響を受けて遅れている

印象は受けています。

(委員)

コロナで事業が減っているが、感染症対策など行い事業を増やして実施していかなければならないとは思いますが。

(会長)

何か工夫して取り組んでいるようなことはありますか。

(委員)

高齢者宅の訪問については、コロナの時だからこそ来てほしいという要望が多いので、換気やマスク着用で対策をしながら実施しています。一人暮らしで、人にも会えないという精神的な負担や不安を感じている声を聞いています。

(会長)

コロナで通所系が減って訪問系が伸びているのは、今回の報告を聞いても皆さんの意見を聞いても共通するところですね。

(委員)

福祉の現場はコロナで苦しいです。コロナについては、感染症対策を徹底して乗り越えていくしかないですね。

コロナ禍で継続できないということで、ボランティアを解散しているところも6、7あります。今できることを粛々とやっていくしかないと思います。

(委員)

薬剤師が自宅を訪問している件数は、徐々に増えているかと思います。直接的な接触を控えるためにIT化で有効な手段については、具体的にはまだ出ていない気がします。

(会長)

市の方でITを活用している事案はありますか？

(事務局)

ICT活用については、県への補助事業を情報展開しています。

(事務局)

高齢者のICTの活用については、1つのハードルである機器の操作に関する高齢者のスマホ教室を開催しています。1回あたりは15名程度の参加ですが、令和3年度は300名ほどに参加してもらっています。

(会長)

オンラインを活用したサービスについて、他市町村も介護予防DVDを作って配布しているが活用されていないことも多いですね。

(委員)

単なる公助だけでなく、共助・互助を支援する取組がみられる点が評価できます。

担い手の育成について、介護に関する説明会で高校生に対して実施するなど、幅広くすそ野の拡大をしていることが分かりました。このように若い人たちに向けて働きかけをすることが大事だと改めて思いました。

(委員)

民生委員の活動で、コロナで活動ができないのは危機的な状況であります。

民生委員の3年の任期で、新しい委員が、活動ができていない。コロナで活動を経験していない委員が、民生委員の本来の活動を理解できずに進んでいってしまっている状況です。新しく活動した人は、コロナ禍の活動で良いのだと思ってしまうと本来の活動が失われていくことを危惧しています。

(委員)

ずっと元気プロジェクトは、非常に興味があつて、スカイホールなど各地域で開催されているので私も参加しています。今までにない活動で、興味深いです。

(事務局)

ずっと元気プロジェクトは、ソーシャル・インパクト・ボンドといって民間事業者の自由な発想を生かした健康づくりにつながるイベントを実施する新しい取組です。

(会長)

豊田市は興味深い新しい取組をされていますね。それでは、議題2について事務局お願いします。

【議題2】第9期計画の策定について

(報告事項)

概要説明(介護保険課)

- ・第9期計画策定の予定について説明

(会長)

高齢者等実態調査で、デジタル化についての設問を予定しているということですが、詳しく説明してほしいです。

(事務局)

高齢者がどんなデジタルの媒体を使っているのかなどを調査するものです。

(委員)

医師、薬剤師、歯科医師に対する高齢者の満足度は興味深いですが、調査に盛り込むことは可能でしょうか。

(事務局)

今後、国の調査指針が示されますので、国の調査指針や今回いただいた意見などを参考に、検討させていただきます。

(委員)

実態調査の内容が分からないのでなんとも言えないですが、満足度に対して意見があれば、参考にして改善できることは対応することが可能だと思います。

(委員)

一般市民の感覚を聞ければ参考にしていきたいと思います。

(会長)

事務局で盛り込めるかどうか、検討していただければと思います。ありがとうございました。

それでは次の議題にまいります。

(2) 地域包括支援センター運営協議会に関すること

【議題1】 地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について (承認事項)

概要説明 (高齢福祉課)

- ・地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について説明

(会長)

包括から居宅介護支援事業所に委託する要件は、どのようになっていますか。

(事務局)

居宅介護支援事業所と地域包括支援センターが契約します。契約をするときに市は書類を提出してもらって取りまとめをして、内容を確認しています。

(会長)

他市町村では、介護予防ケアマネジメントの研修の受講が委託の要件になっているところがあるのですが、そもそもその研修が開催されていないという状況であります。豊田市ではどうでしょうか。

(事務局)

委託を受けてくれる居宅介護支援事業所の数が少ないので、もともとそのような条件を設定していません。

(会長)

高いハードルを設定していないということですね。わかりました。

今御説明いただいた承認事項はよろしいでしょうか。

(承認の確認)

ありがとうございます。

【議題2】 令和3年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について

(承認事項)

概要説明 (高齢福祉課)

- ・令和3年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について説明

(会長)

人材の確保が難しいと説明がありましたが、人材育成にきめ細かく努めているということでした。

(委員)

当法人では、4か所の包括を受託しています。民生委員と連携して困っている方々を支援しているが、なり手がいないというところと介護予防の業務に追われ、本業の相談対応に影響が出ている状況であります。

(会長)

現場で足りていないのは、主任介護支援専門員ですか。

(委員)

特に、主任介護支援専門員が、人員が足りない状況であります。居宅介護支援事業所に主任介護支援専門員を配置すると介護報酬加算がある。こういったことも包括の人員にも影響しているような気がします。

(委員)

人材不足というのはよく聞くので、確保に努めているのですが辞める方がいる。基幹包括として今いる人たちに辞めないでいてもらうことも大事なことであるが、新たな人に関心をもってもらい、人材の養成をしていくことが重要であると考えています。

(会長)

主任介護支援専門員が確保できないというのは、直接ケアの不足が関係あるのですか。事務局はどのように把握していますか。

(事務局)

組織に属さないケアマネが増えてきていると聞いたことがあります。また、ケアマネをするより介護職員の方がお金になるという話も聞いたことはあります。

(委員)

介護処遇改善加算によって、そういった影響が出ている部分もあると思います。あとは、介護支援専門員の合格率が20%を切っている。令和3年度は少し上がりましたが、担い手も減ってきているのもあると思います。

行政と私たちが力を合わせて現場の職員を確保しながら、介護支援専門員も確保していきたいです。

(委員)

一人暮らし高齢者は3300名ほどが登録されていると思います。民生委員は、日頃この人たちの見守りをしており、年に3回ある会議で、包括の対応は、親切・丁寧との意見がたくさん寄せられています。

包括と民生委員の連携はできているように思います。一方で、施設に入った情報、亡くなったという情報がタイムリーではないので、情報共有が課題かと思います。

(会長)

プライバシーや個人情報の問題があると思いますが、この辺りは工夫をして連携していく必要があると思いました。

今御説明いただいた承認事項はよろしいでしょうか。

(承認の確認)

ありがとうございます。

【議題3】令和3年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について（承認事項）
概要説明（高齢福祉課）

- ・令和3年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について説明

(会長)

活動事例をみると、オリジナルな取組をされており、他市町村に比べても包括の認知度が高い印象があります。

(委員)

色々工夫されている。家から出られなくなったある方は、歩数計をもらったと言っていました。家の中でも歩くようになったそう。みのり園の事例を見て同じだと思いました。

(委員)

とよた苑は認知症の雑誌を作ってくれて、皆に配布するなど大変好評でした。

(会長)

豊田市はこの事例集を公表していますか。

(事務局)

承認いただいた後インターネットで公表しています。

(会長)

ここまで細かく公表している事例は少ないのではないかと思います。

(委員)

豊田市に来て、地域性がバラバラで中心市街地とその他では同じ市だとは思えないほどのギャップを感じました。こういった中学校区単位の地域で自己評価しているのは素晴らしいことだと思います。

(会長)

これだけ全面的に公表するのはなかなかできないことだと思います。

今御説明いただいた承認事項はよろしいでしょうか。

(承認の確認)

ありがとうございます。

【議題4】令和4年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について

(承認事項)

概要説明(高齢福祉課)

・令和4年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について説明

(会長)

今御説明いただいた承認事項はよろしいでしょうか。

(承認の確認)

ありがとうございます。

(会長)

全体を通して御意見・御質問ある方はお願いします。

(委員)

高齢者等実態調査について高齢者への配布数が前回と同じということですが、高齢

者数が増えているので、配布数を増やしたらどうでしょうか。また、未来の高齢者である第2号被保険者や介護する家族への調査も行ってはどうでしょうか。

もう一点、地域包括支援センター事業評価について、広く市民の皆様に見てもらえるようにしてほしいと思いました。

(会長)

事務局は実態調査の件と事業評価の見える化について一度御検討ください。

(事務局)

契約も進んでおり今回の調査数を変更することはできないため、今後の参考にさせていただきます。それから、介護に携わっている人については、認定者へのアンケートの中で意見を聞く予定です。

その他、様々な人たちの意見ということで、アンケート調査だけでなくヒアリングを行って意見を聴取していく予定です。

(委員)

とよたおいでんバスのおでかけパス70が始まったが、高齢者の外出に有効な手段であると感じています。

(委員)

地域包括支援センターは市民の方の関わりがあってやれているところもあるので、市民の方への評価や検証もして、当事者意識を持って行ってほしいです。

3 報告事項

配食サービス個人負担金の適正化について

概要説明（高齢福祉課）

- ・配食サービス個人負担金の適正化について説明

(会長)

この話が進めばまた報告していただくということで、御意見・御質問はないようですので報告を終わります。

4 連絡事項

(事務局)

次回令和4年度、第2回の分科会につきましては、令和5年3月頃に開催を予定しております。日程につきましては、決まり次第お知らせをさせていただきます。

また来年度以降のスケジュールにつきまして、次第の方に記載してございますので、御確認ください。

以上を持ちまして、令和4年度第1回豊田市社会福祉審議会高齢者専門分科会を終了します。ありがとうございました。